

44回久慈地区中学校総合体育大会

# テニス・バドが県大会に

第44回久慈地区中学校総合体育大会が6月17から19までの3日間、久慈地区の市町村を会場に開かれました。普代中学校（木村利光校長、生徒98人）は、ソフトテニス部女子とバドミントン部で団体と個人ともに優勝を飾り、2競技、4種目で県大会出場の切符を手にしました。そのほかはソフトボール部が準優勝、女子バスケットボール部が初の3位入賞、野球部とソフトテニス部男子の団体はベスト8という結果になりました。

## テニス、ダブル優勝

ソフトテニスは久慈川近

隣公園テニスコートで行われ、普代中女子ソフトテニス部（立白真未部長、部員10人）は団体戦で予選Cグループを1位で決勝トーナメントへ進み、1回戦待浜



団体・個人戦とダブル優勝を成し遂げたソフトテニス部女子



団体戦8連覇を飾り、個人戦も1、2、3位と完全優勝のバドミントン部

中を2-0、準決勝で久慈中を2-1、決勝戦で長内中を2-0で破り、念願の初優勝を飾りました。

一方、個人戦は3年の松葉沙織・深渡麻衣ペアが長内中との準決勝を4-2で勝利した以外、5戦ともストリート勝ちで圧倒的な強さを見せ優勝しました。

女子ソフトテニス部は団体、個人ダブルでの県大会出場となります。

## バド部は完全優勝

村社会体育館が会場のバドミントン部（羽場勇也部長、部員18人）は、久慈中を相手に団体、個人1位から3位まで独占し、完全優勝しました。

団体戦は久慈中を一部2-1、2部2-0で破り、同大会8連覇の記録を更新。個人戦シングルスでは3年の澤口卓弥が2年の古沼健を2-1で下し優勝し

ました。ダブルスは3年の羽場勇也・星野瑞喜ペアが坂下昌太・下道直哉ペアを2-0で下し優勝しました。

## ソフト惜しくも2位

昨年の新人戦で5年ぶりに優勝し、本体会の優勝候補のソフトボール部（藤島晶主将、部員13人）は洋野町民運動場で試合を行い、予選リーグを1位通過し、決勝トーナメント久慈中を7-1で下しましたが、決勝戦で角浜中に7-5で敗れ準優勝となりました。

## 初の3位にバスケット部

創部以来初の3位に入賞した女子バスケットボール部（佐々木千鶴部長、部員17人）は久慈市民体育館で1回戦長内中に38-30で勝利。2回戦種市中に35-60で負け3位入賞となりました。

県大会は7月15日から17日の3日間、ソフトテニスが盛岡市で、バドミントンは奥州市でそれぞれ行われます。